

インストールおよびリリース・ノート Sybase[®] SDK DB-Library[™] Kerberos Authentication Option 15.7

ドキュメント ID : DC01826-01-1570-02

改訂 : 2012 年 4 月 19 日

| トピック | ページ |
|--|-----|
| 1. 最新のリリース・ノート情報へのアクセス | 2 |
| 2. 製品の概要 | 2 |
| 2.1 製品概要 | 3 |
| 2.2 システムの稼働条件 | 3 |
| 3. インストール手順 | 4 |
| 3.1 バージョン 15.5 へのバージョン 15.7 のインストール | 4 |
| 3.2 InstallAnywhere インストーラと InstallShield Multiplatform インストーラの実行 | 5 |
| 3.3 GUI モードでのインストール | 5 |
| 3.4 コンソール・モードでのインストール | 7 |
| 3.5 サイレント・モードでのインストール | 8 |
| 4. 設定手順 | 10 |
| 4.1 Enabling SDK DB-Library Kerberos Authentication Option の有効化 | 10 |
| 5. アンインストール手順 | 11 |
| 5.1 アンインストール手順 | 11 |
| 6. インストーラの問題 | 13 |
| 6.1 Microsoft Windows 2008 でインストーラがインストーラ・ディレクトリを作成できない | 13 |
| 6.2 setup.bin へのパスに “..” が含まれていると、インストーラが起動しない | 13 |
| 6.3 インストーラが tar を使用して Suite アーカイブから抽出できない | 13 |
| 6.4 Solaris でインストールに失敗する。 | 13 |
| 6.5 [製品機能を選択します] ウィンドウを操作できない | 14 |
| 6.6 [プリインストールの要約] 画面でインストーラが応答しなくなる | 14 |
| 6.7 コンソール・モードで西欧言語の文字セットが正しく表示されない | 14 |

Copyright 2012 by Sybase, Inc. All rights reserved. Sybase の商標は、Sybase の商標リスト (<http://www.sybase.com/detail?id=1011207> からダウンロード可能) で確認できます。Sybase およびこのリストに掲載されている商標は、米国法人 Sybase, Inc. の商標です。R は、米国における登録商標であることを示します。このマニュアルに記載されている SAP、その他の SAP 製品、サービス、および関連するロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP AG の商標または登録商標です。Java および Java 関連の商標は、米国およびその他の国における Oracle およびその関連会社の商標または登録商標です。Unicode と Unicode のロゴは、Unicode, Inc. の登録商標です。このマニュアルに記載されている上記以外の社名および製品名は、当該各社の商標または登録商標の場合があります。

| トピック | ページ |
|-------------------------------------|-----|
| 6.8 サイレント・モードでインストールするときに機能名が検証されない | 14 |
| 7. テクニカル・サポート | 15 |
| 8. その他の情報 | 15 |
| 8.1 Web 上の Sybase 製品の動作確認情報 | 15 |
| 8.2 Sybase EBF とソフトウェア・メンテナンス | 16 |
| 9. アクセシビリティ機能 | 17 |

1. 最新のリリース・ノート情報へのアクセス

このリリース・ノートの最新バージョン(英語版)にはインターネットからアクセスできます。製品のリリース後に追加された製品およびマニュアルに関する重要な情報は、Sybase® Product Documentation Web サイトで確認してください。

❖ Sybase Product Documentation Web サイトのリリース・ノートにアクセスする

- 1 Product Documentation (<http://www.sybase.com/support/manuals/>) を開きます。
- 2 製品を選択します。
- 3 [Document Set] リストから、製品のバージョンを選択します。
- 4 マニュアルのリストから、使用しているプラットフォームのリリース・ノートへのリンクを選択します。PDF バージョンをダウンロードするか、オンライン・マニュアルを参照することができます。

2. 製品の概要

Sybase Software Developer's Kit (SDK) DB-Library™ Kerberos Authentication Option バージョン 15.7 は、以下で利用できます。

- Linux x86 32 ビット版
- Microsoft Windows x86 32 ビット版
- Solaris SPARC 32 ビット版および 64 ビット版

サポートされるオペレーティング・システムの最新のリストについては、[Sybase platform certifications page](http://certification.sybase.com/ucr/search.do) (<http://certification.sybase.com/ucr/search.do>) を参照してください。SDK が構築およびテストされたプラットフォーム、コンパイラ、およびサードパーティ製品のリストについては、『新機能ノート Open Server 15.7 および SDK 15.7 Windows、Linux、UNIX 版』を参照してください。

2.1 製品概要

Sybase SDK DB-Library Kerberos Authentication Option では、MIT Kerberos セキュリティ・メカニズムを DB-Library で使用できます。DB-Library でサポートされる Kerberos セキュリティ・メカニズムの機能は、ネットワーク認証サービスと相互認証サービスのみです。

2.2 システムの稼働条件

表 1 は、SDK DB-Library Kerberos Authentication Option をインストールするためのシステム稼働条件を示します。

表 1：システムの稼働条件

| | |
|----------------------|--|
| ハードウェアとオペレーティング・システム | 次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • Linux x86 32 ビット版 • Microsoft Windows x86 32 ビット版 • Solaris SPARC 32 ビット版および 64 ビット版 サポートされるオペレーティング・システムの最新のリストについては、 Sybase platform certifications page (http://certification.sybase.com/ucr/search.do) を参照してください。 |
| ディスク領域 | <ul style="list-style-type: none"> • Linux x86 32 ビット版 – 104MB • Microsoft Windows x86 32 ビット版 – 96MB • Solaris SPARC 32 ビット版および 64 ビット版 – 141MB |
| Sybase SDK | SDK 15.7 以降 |

3. インストール手順

この項では、次のインストール・モードを使用して SDK DB-Library Kerberos Authentication Option をインストールする方法について説明します。

- 1 GUI (グラフィカル・ユーザ・インタフェース) モード – インストーラ・インタフェース を使用してコンポーネントをインストールします。
- 2 コンソール・モード – コマンド・ライン環境でコンポーネントをインストールします。
- 3 サイレント・モード – 製品をユーザーとのインタラクションなしでインストールします。このモードは、複数のマシンで同一のインストールを行う場合に便利です。

注意 インストール中に問題が発生した場合は、インストール・ログ・ファイル *Kerberos_Suite.log* をチェックして、インストール処理の記録を確認します。*Kerberos_Suite.log* は、`%SYBASE%\log\` (Microsoft Windows の場合) または `$$SYBASE/log/` (UNIX プラットフォームの場合) にあります。ここで、`%SYBASE%` または `$$SYBASE` は、インストール・ディレクトリです。

3.1 バージョン 15.5 へのバージョン 15.7 のインストール

SDK DB-Library Kerberos Authentication Option version 15.7 はバージョン 15.5 の置き換え用バージョンです。既存のバージョン 15.5 ディレクトリにバージョン 15.7 をインストールすると、バージョン 15.7 のファイルによって 15.5 のファイルが上書きされます。Sybase では、SDK 15.7 をインストールする前に、SDK 15.5 ディレクトリをバックアップすることをおすすめします。

3.2 InstallAnywhere インストーラと InstallShield Multiplatform インストーラの実行

InstallAnywhere および InstallShield Multiplatform によって生成された一部のファイルは、同じファイル名を共有します。このことは、InstallAnywhere と InstallShield の両方のテクノロジーを使用して、製品を同じインストール・ディレクトリにインストールする場合、またはそこからアンインストールする場合に問題になります。これは、両方のインストーラによって使用されるファイルが警告なしで上書きまたは削除されるためです。Sybase では、InstallShield および InstallAnywhere を使用して、同じインストール・ディレクトリにインストールしたり、またはそこからアンインストールしたりしないことをおすすめします。

3.3 GUI モードでのインストール

次の手順に従って SDK DB-Library Kerberos Authentication Option を GUI モードでインストールします。

❖ GUI モードでのインストール

- 1 お使いになる ID がソフトウェアのインストール権限を持つよう、管理者としてログインしてください。
- 2 インストーラを起動します。
 - Microsoft Windows の場合：CD からインストールする場合、インストーラは自動的に起動します。起動しない場合や、ダウンロードしたファイルからインストールする場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選択し、次のように入力します。

```
x:¥path¥setup.exe
```

setup.exe は SDK DB-Library Kerberos Authentication Option をインストールする実行ファイル、*x:¥path¥* は *setup.exe* へのパスです。

- UNIX プラットフォームの場合：

```
cd /cdrom/cdromn/pathname
./setup.bin
```

各パラメータの意味は次のとおりです。

- *cdrom/cdromn* は、CD ドライブをマウントしたときに指定したディレクトリ (マウント・ポイント) です。たとえば Solaris では、マウント・ポイントは *cdrom/cdrom0* となる場合があります。
- *setup.bin* は SDK DB-Library Kerberos Authentication Option をインストールする実行ファイルです。

3 概要を読みます。[次へ]をクリックします。

4 ライセンス契約を読みます。

インストールを実行している地域を選択すると、その地域に適した契約が表示されます。[指定したインストール地域における Sybase のライセンス条件に同意します]を選択し、[次へ]をクリックします。

続行するには、ライセンス契約に同意してください。

5 インストールフォルダを選択します。

デフォルト・ディレクトリを受け入れる場合は、[次へ]をクリックします。別のディレクトリを指定する場合は、[UI-Choose]をクリックするか、入力フィールドにディレクトリ・パスを入力して、[次へ]をクリックします。

- SDK が選択したインストール・ディレクトリにインストールされていない場合は、次のメッセージが表示されます。

“Software Developer’s Kit” を *directory_name* 内で見つけることができません。“Sybase SDK DB-Lib Kerberos Authentication Option” は “Software Developer’s Kit” を必要とします。

[前へ]をクリックして、SDK 15.7 またはそれ以降のバージョンを含むディレクトリを選択します。

- インストールされている SDK がバージョン 15.7 またはそれ以降でない場合は、次のメッセージが表示されます。

"15.7" の範囲内のバージョンの "Software Developer's Kit" を "/opt/sybase" 内で見つけることができません。
"Sybase SDK DB-Lib Kerberos Authentication Option" は "15.7" の範囲内のバージョンの "15.7" を必要とします。

[前へ]をクリックして、SDK 15.7 またはそれ以降のバージョンを含むディレクトリを選択します。

- インストール・ディレクトリが存在しない場合は、次のメッセージが表示されます。

ディレクトリ `directory_name` は存在しません。
作成しますか？

[いいえ]をクリックして、SDK 15.7 またはそれ以降のバージョンを含むディレクトリを選択します。

- インストール・ディレクトリに Sybase 製品が格納されている場合は、次のメッセージが表示されます。

警告：既存のディレクトリへのインストールを選択しました。
このインストールを続行する場合、インストールするように選択した製品の古いバージョンがこのディレクトリで検出されると、すべて置換されます。

継続すると、古い製品が SDK DB-Library Kerberos Authentication Option と一緒にインストールされていない場合に、共通ファイルが上書きされます。

- 6 [インストール前の概要] ウィンドウに表示された情報を確認します。
[インストール] をクリックします。

インストール・プログラムによって、すべてのコンポーネントが CD からアンロードされ、処理の進行状況が表示されます。

- 7 [インストール完了] ウィンドウで、[完了] をクリックします。

3.4 コンソール・モードでのインストール

グラフィカル・ユーザ・インタフェース (GUI) を使用しないでインストーラを実行するには、コンソール・モードでインストーラを起動します。インストーラが自動的に起動する場合は、[キャンセル] をクリックして GUI インストールをキャンセルし、端末またはコンソールからセットアップ・プログラムを起動します。

❖ コンソール・モードでのインストール

- 1 コマンド・ラインで次のように入力します。

- Microsoft Windows の場合：

```
setupConsole.exe -i console
```

- UNIX プラットフォームの場合：

```
./setup.bin -i console
```

- 2 インストール作業の流れは、「GUI モードでのインストール」(5 ページ) で説明した、GUI インストールの場合と同じです。ただし、出力は端末ウィンドウに出力され、応答はキーボードを使用して入力します。表示されるメッセージに従って、製品をインストールします。

コマンド・ライン・オプションのリストについては、使用しているプラットフォームの『Software Developer's Kit/Open Server インストール・ガイド』を参照してください。

3.5 サイレント・モードでのインストール

「サイレント(無人)」インストールを実行するには、インストーラを実行し、指定したインストール設定が含まれる応答ファイルを指定します。

3.5.1 応答ファイルの作成

GUI モードまたはコンソール・モードでインストールするときに応答ファイルを作成するには、`-r` コマンド・ライン引数を指定します。`-r` 引数を指定することで、インストール・ウィザードのプロンプトへの応答が記録され、インストール・ウィザードの終了時に応答ファイルが作成されます。応答ファイルは編集可能なテキスト・ファイルであり、後続のインストールで使用する前に応答を変更できます。

GUI インストール時に応答ファイルを生成するには、次のコマンドを実行します。

- Microsoft Windows の場合：

```
setupConsole.exe -r responseFileName
```

- UNIX プラットフォームの場合：

```
./setup.bin -r responseFileName
```

ここで、`responseFileName` は、応答ファイル用に選択する次のようなファイル名の絶対パスです。C:¥SDK¥ResponseFile.txt

(Microsoft Windows の場合) または

/home/sybase/SDK/ResponseFile.txt (UNIX プラットフォームの場合)

注意 指定したディレクトリ・パスがすでに存在している必要があります。

3.5.2 サイレント・モードでのインストール

サイレント(無人)インストールでは、ユーザによる操作は伴いません。すべてのインストール設定情報が応答ファイルから取得されます。これは、複数の同一インストールを行う場合、またはインストール処理を完全に自動化する場合に役立ちます。

注意 サイレント・モードでのインストール時に、**Sybase** ライセンス契約に同意する必要があります。次のいずれかの方法を使用できます。

- 次のオプション `-DAGREE_TO_SYBASE_LICENSE=true` をコマンド・ライン引数に含める。
- 応答ファイルを編集して、次のプロパティを含めます。
`AGREE_TO_SYBASE_LICENSE=true.`

サイレント・モードでインストールするには、次のコマンドを実行します。

- **Microsoft Windows** の場合：

```
setupConsole.exe -f responseFileName -i silent  
-DAGREE_TO_SYBASE_LICENSE=true -DRUN_SILENT=true
```

- **UNIX** プラットフォームの場合：

```
./setup.bin -f responseFileName -i silent  
-DAGREE_TO_SYBASE_LICENSE=true -DRUN_SILENT=true
```

responseFileName は、選択するインストール・オプションを含むファイル名の絶対パスです。

GUI 画面がないことを除けば、インストーラの動作はすべて同じです。サイレント・モードのインストール結果は、GUI モードで同じ応答を行った場合とまったく同じになります。

警告！ **Microsoft Windows** では、サイレント・インストール時にフォアグラウンドで実行される `setupConsole.exe` を使用することをおすすめします。`setup.exe` はバックグラウンドで実行されるため、インストールが異常終了したという印象を与える可能性があり、サイレント・インストールを使用して再度インストールが試行される結果になります。複数のインストールを同時に実行すると、**Windows** レジストリが破壊され、オペレーティング・システムを再起動できなくなることがあります。

4. 設定手順

設定に関する詳細は、以下のドキュメントを参照してください。

- 『Open Client/Server 設定ガイド UNIX 版』
 - 「第 6 章 セキュリティ・サービスの使い方」
 - 「付録 B 設定ファイル」
 - 「付録 D Kerberos セキュリティ・サービス」
- 『Open Client/Server 設定ガイド Windows 版』
 - 「第 6 章 セキュリティ・サービスの使い方」
 - 「付録 B 設定ファイル」

4.1 Enabling SDK DB-Library Kerberos Authentication Option の有効化

❖ Sybase SDK DB-Library Kerberos Authentication Option の有効化

Sybase SDK DB-Library Kerberos Authentication Option を有効にする前に、そのオプションが既存の SDK 15.7 またはそれ以降にインストールされていることを確認してください。

- 1 DB-Library に *sybdb.h* ではなく *sybdbn.h* をインクルードします。
- 2 *dbsetversion* を使用して DB-Library のバージョンを DBVERSION_100 以上に設定します。DB-Library を最新バージョンに設定しないと、DB-Library はデフォルト・バージョンの DBVERSION_46 に戻ります。これは Tabular Data Stream™ (TDS) プロトコル・レベルで新しいオプションをサポートしません。
- 3 新しいオプションを有効にするには、DBSETLNETWORKAUTH または DBSETLMUTUALAUTH を使用し、*dbopen* を呼び出します。

注意 サーバのプリンシパル名とサーバのディレクトリ・エントリ名が異なる場合は、*dbopen* を呼び出す前に DBSETLSERVERPRINCIPAL を呼び出します。

また、DBSETLNETWORKAUTH、DBSETLMUTUALAUTH、または DBSETLSERVERPRINCIPAL を呼び出す前に、*dbopen* を呼び出すと、アプリケーションが次に *dbopen* を呼び出すまで無効なままとなります。

- 4 アプリケーションを再コンパイルします。

5. アンインストール手順

SDK DB-Library Kerberos Authentication Option のインストーラには、インストールした Sybase コンポーネントを削除するアンインストール機能があります。

アンインストールを実行する前に、次の問題を考慮する必要があります。

- 複数の Sybase 製品によって共有コンポーネントが同じディレクトリにインストールされている場合、その共有コンポーネントはすべての Sybase 製品をアンインストールするまで削除されません。

警告！ SDK DB-Library Kerberos Authentication Option のインストーラ以外のインストール・プログラムを使用してインストールされた他の Sybase 製品を含むディレクトリに SDK DB-Library Kerberos Authentication Option が存在する場合は、これらをアンインストールしないでください。アンインストールを実行すると、Sybase 製品で共有されているコンポーネントが削除され、他の製品の動作に影響を与える場合があります。

- アンインストール機能は、インストーラーからロードされたファイルのみ削除します。ログ・ファイルや設定ファイルなどの一部の Sybase ファイルは、管理目的で削除されずに残ります。すべての製品をディレクトリからアンインストールした場合、残っている設定ファイルが必要ないときは、そのディレクトリを手動で削除できます。

5.1 アンインストール手順

SDK DB-Library Kerberos Authentication Option を GUI モードまたはコンソールモードでアンインストールできます。アンインストールを実行する前に、アンインストールするソフトウェアを使用するすべてのプロセスとアプリケーションを停止します。

❖ GUI モードでのアンインストール

1 uninstall スクリプトを起動します。

- Microsoft Windows の場合 : [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除] を選択します。Sybase SDK DB-Lib Kerberos Authentication Option を選択して [削除] をクリックします。
- UNIX プラットフォームの場合 :

```
$SYBASE/sybuninstall/KerberosSuite/uninstall
```

- 2 概要を読みます。[次へ]をクリックします。
- 3 アンインストールの概要を読みます。[アンインストール]をクリックします。uninstall スクリプトが SDK DB-Library Kerberos Authentication Option を削除し、処理の進行状況が表示されます。

警告! [次へ]をクリックすると、uninstall プログラムがソフトウェアをアンインストールします。この操作はキャンセルできません。

- 4 [アンインストール完了]ウィンドウで、[完了]をクリックします。

❖ コンソール・モードでのアンインストール

- 1 %SYBASE%(Microsoft Windows の場合)または \$SYBASE (UNIX プラットフォームの場合)ディレクトリに移動し、コマンド・プロンプトで、次のいずれかのコマンドを入力します。

Microsoft Windows の場合 :

```
%SYBASE%\sybuninstall\KerberosSuite\uninstall.exe -i console
```

UNIX プラットフォームの場合 :

```
$SYBASE/sybuninstall/KerberosSuite/uninstall -i console
```

uninstall プログラムが起動します。

- 2 uninstall プログラムの流れは GUI アンインストールの場合と同じです。ただし、出力は端末ウィンドウに出力され、応答はキーボードを使用して入力します。表示されるメッセージに従って、製品をアンインストールします。

コマンド・ライン・オプションのリストについては、使用しているプラットフォームの『Software Developer's Kit/Open Server インストール・ガイド』を参照してください。

6. インストーラの問題

この項では、SDK DB-Library Kerberos Authentication Option のインストール時に発生する可能性のある既知の問題について説明します。

6.1 Microsoft Windows 2008 でインストーラがインストール・ディレクトリを作成できない

[CR #595614]. Microsoft Windows 2008 で、インストーラがインストール・ディレクトリを作成できるのは、管理者としてログインしている場合のみです。これは、ユーザの役割にディレクトリを作成するパーミッションが付与されている場合でも同様です。

対処方法: インストーラを実行する前に、インストール・ディレクトリを作成してください。

6.2 *setup.bin* へのパスに “..” が含まれていると、インストーラが起動しない

[CR #595582]. Linux と Solaris では、指定した *setup.bin* へのパスに “..” が含まれていると、インストーラが起動しません。

対処方法: *setup.bin* へのパスに “..” が含まれていないことを確認します。

6.3 インストーラが tar を使用して Suite アーカイブから抽出できない

[CR #593410]. Solaris では、インストーラが GNU tar ツールを使用して Suite アーカイブからファイルを抽出するときに、次のエラーが表示されます。

```
The included VM could not be unarchived (TAR).Please
try to download the installer again and make sure that
you download using 'binary' mode.Please do not attempt
to install this currently downloaded copy.
```

対処方法: \$PATH に */usr/bin/tar* を定義します。

6.4 Solaris でインストールに失敗する。

[CR #593148]. ファイル記述子の制限を “unlimited” に設定すると、インストーラが失敗し、次のメッセージが返されます。

```
awk:insufficient memory for string storage Context is:
>>>                                     <<<<
```

対処方法: ファイル記述子の「ハード」制限値を数値に設定します。

6.5 [製品機能を選択します] ウィンドウを操作できない

[CR #590282]. Microsoft Windows では、[Tab] キーおよび矢印キーを使用して、インストールまたはアンインストール・プログラムの [製品機能を選択します] ウィンドウを操作することはできません。

対処方法: マウスを使用して、[製品機能を選択します] ウィンドウをクリックします。そうすることで、ウィンドウにフォーカスが移され、キーボードを使用できるようになります。

6.6 [プリインストールの要約] 画面でインストーラが応答しなくなる

[CR #589483]. Linux では、df コマンドが応答しなくなると、インストーラも [プリインストールの要約] 画面で応答しなくなります。

対処方法: ネットワーク・ファイル・システム (NFS: Network File System) マウントを修正し、インストーラを再実行します。

6.7 コンソール・モードで西欧言語の文字セットが正しく表示されない

[CR #588179]. Microsoft Windows では、コンソール・モードでインストールするときに、一部の西欧言語文字が正しく表示されません。

対処方法: 製品のインストールを始める前に、以下を行います。

- 1 [コマンドプロンプト] ウィンドウを開きます。
- 2 chcp 1252 を実行して、コード・ページを 1252 に変更します。
- 3 [コマンドプロンプト] ウィンドウのタイトルを右クリックし、[プロパティ] を選択します。[フォント] タブで、[Lucida Console] を選択し、[OK] をクリックします。
- 4 同じ [コマンドプロンプト] ウィンドウを使用して、インストーラをコンソール・モードで実行します。

6.8 サイレント・モードでインストールするときに機能名が検証されない

[CR #583979]. サイレント・モードでインストールするときに、インストーラが、応答ファイルで指定されている機能名を検証しません。

対処方法: 指定されている機能名が正しいことを確認します。

7. テクニカル・サポート

Sybase ソフトウェアがインストールされているサイトには、Sybase 製品の保守契約を結んでいるサポート・センタとの連絡担当の方 (コンタクト・パーソン) を決めてあります。マニュアルだけでは解決できない問題があった場合には、担当の方を通して Sybase 製品のサポート・センタまでご連絡ください。

8. その他の情報

Sybase Getting Started CD および Sybase Product Documentation Web サイトを利用すると、製品について詳しく知ることができます。

- Getting Started CD には、リリース・ノートとインストール・ガイドが PDF 形式で含まれています。この CD は製品のソフトウェアと同梱されています。Getting Started CD に収録されているマニュアルを参照または印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です (CD 内のリンクを使用して Adobe の Web サイトから無料でダウンロードできます)。
- Sybase Product Documentation Web サイトには、標準の Web ブラウザを使用してアクセスできます。また、製品ドキュメントのほか、EBFs/Maintenance、Technical Documents、Case Management、Solved Cases、ニュース・グループ、Sybase Developer Network へのリンクもあります。

Sybase Product Documentation Web サイトは、Product Documentation (<http://www.sybase.com/support/manuals/>) にあります。

8.1 Web 上の Sybase 製品の動作確認情報

Sybase Web サイトの技術的な資料は頻繁に更新されます。

❖ 製品認定の最新情報にアクセスする

- 1 Web ブラウザで Technical Documents (<http://www.sybase.com/support/techdocs/>) を指定します。
- 2 [Partner Certification Report] をクリックします。
- 3 [Partner Certification Report] フィルタで製品、プラットフォーム、時間枠を指定して [Go] をクリックします。
- 4 [Partner Certification Report] のタイトルをクリックして、レポートを表示します。

- ❖ **コンポーネント認定の最新情報にアクセスする**
 - 1 Web ブラウザで Availability and Certification Reports (<http://certification.sybase.com/>) を指定します。
 - 2 [Search By Base Product] で製品ファミリとベース製品を選択するか、[Search by Platform] でプラットフォームとベース製品を選択します。
 - 3 [Search] をクリックして、入手状況と認定レポートを表示します。
- ❖ **Sybase Web サイト (サポート・ページを含む) の自分専用のビューを作成する**

MySybase プロファイルを設定します。MySybase は無料サービスです。このサービスを使用すると、Sybase Web ページの表示方法を自分専用カスタマイズできます。

 - 1 Web ブラウザで Technical Documents (<http://www.sybase.com/support/techdocs/>) を指定します。
 - 2 [MySybase] をクリックし、MySybase プロファイルを作成します。

8.2 Sybase EBF とソフトウェア・メンテナンス

- ❖ **EBF とソフトウェア・メンテナンスの最新情報にアクセスする**
 - 1 Web ブラウザで the Sybase Support Page (<http://www.sybase.com/support>) を指定します。
 - 2 [EBFs/Maintenance] を選択します。MySybase のユーザ名とパスワードを入力します。
 - 3 製品を選択します。
 - 4 時間枠を指定して [Go] をクリックします。EBF/Maintenance リリースの一覧が表示されます。

鍵のアイコンは、「Technical Support Contact」として登録されていないため、一部の EBF/Maintenance リリースをダウンロードする権限がないことを示しています。未登録でも、Sybase 担当者またはサポート・コンタクトから有効な情報を得ている場合は、[Edit Roles] をクリックして、「Technical Support Contact」の役割を MySybase プロファイルに追加します。
 - 5 EBF/Maintenance レポートを表示するには [Info] アイコンをクリックします。ソフトウェアをダウンロードするには製品の説明をクリックします。

9. アクセシビリティ機能

このマニュアルには、アクセシビリティを重視した HTML 版もあります。この HTML 版マニュアルは、スクリーン・リーダーで読み上げる、または画面を拡大表示するなどの方法により、その内容を理解できるよう配慮されています。

SDK DB-Library Kerberos Authentication Option 15.7 と HTML マニュアルは、連邦リハビリテーション法第 508 条のアクセシビリティ規定に準拠していることがテストにより確認されています。第 508 条に準拠しているマニュアルは通常、World Wide Web Consortium (W3C) の Web サイト用ガイドラインなど、米国以外のアクセシビリティ・ガイドラインにも準拠しています。

注意 アクセシビリティ・ツールを効率的に使用するには、設定が必要な場合もあります。一部のスクリーン・リーダーは、テキストの大文字と小文字を区別して発音します。たとえば、すべて大文字のテキスト (ALL UPPERCASE TEXT など) はイニシャルで発音し、大文字と小文字の混在したテキスト (Mixed Case Text など) は単語として発音します。構文規則を発音するようにツールを設定すると便利かもしれませんが。詳細については、ツールのマニュアルを参照してください。

Sybase のアクセシビリティに対する取り組みについては、Sybase Accessibility (<http://www.sybase.com/accessibility>) を参照してください。Sybase Accessibility サイトには、第 508 条と W3C 標準に関する情報へのリンクもあります。

